（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達療育クラス　ラブアリス江別校3組（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年10月13日	～	2025年11月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	2025年10月13日	～	2025年11月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での活動を取り入れています。	個別での活動だけではなく小集団での活動を取り入れて他児との関わりをもつ時間を作っています。 その中で人との関わり方を学び状況に合わせた適切なやり取りを学習しています。	今後も園などの集団場面でその場に合わせたやり取りがスムーズにできるように小集団での活動を取り入れていき、その場・人に合わせたコミュニケーションの取り方などの学習につなげていきます。
2	児童の情報共有をこまめに行っています。	こまめにミーティングを行い一人ひとりの変化などを都度共有して支援にあたっています。 ミーティング時、休みの職員は後日出勤時内容を確認できるように日誌にて確認をしています。	今後もミーティングはこまめに実施し職員間での情報共有や話し合いの場を設けます。 報連相を徹底し、些細なことでも職員間で共有していきます。
3	活動内容が固定されないよう工夫しています。	毎回同じ内容にならないよう行う内容やルールを少しずつ変化を加えながら楽しく取り組めるようにしています。 療育内容については全職員が交代で１週間毎に作成し固定されないようにしています。	同じメニューにならないよう前回のメニューなど確認したり児童の楽しみながら学んでいけるメニュー作りを行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ラブアリス以外の子ども・場所での交流が少ないです。	一時児童会館に行き他の場所での関わりを行った時もあるが、利用時間によって行くことが難しいこともあります。 公園など遊びにでる機会はあるがあまり他の子との関わりはないです。	長期休み期間を使いラブアリス外での活動を取り入れ交流する場を設けていき、はじめて会う人やはじめての場所での経験を積みます。
2	保護者様同士の交流の場が提供できていないです。	保護者会など保護者様同士での集まる会は希望者の少ないこともあり、保護者が集まり意見交換などできる場を提供できていないです。	参加したいと考えてくれている保護者様もいるため子どもと一緒に参加する形式など楽しい雰囲気の中、保護者同士での集まる機会を設けていけるよう職員間で話し合いの場を設け考えていきます。
3	保護者様と児童の情報共有がこまめに行えていないことがあります。	送迎先が保育園などの児童が多く、直接保護者様と会える機会が少ないため情報共有できる機会が少ないことがあります。	月に１回程度、自宅での様子を伺う機会を作ります。 ラブアリスでの様子は療育記録で確認していただき、大きな変化があった際には直接連絡でやり取りしていきます。